

ごあいさつ

ごあいさつ

更生支援寮リバイブ・ハウス、就労継続支援B型作業所”～癒しカフェStep by Step～”、子ども食堂”たこ焼きハウス”の施設全て目的は”愛と救い”です。更生支援施設NPO法人リバイブ・ハウスの母体である大阪弟子教会は1996年設立人当時から青少年更生活動に取り組んで来ました。私もその恩恵に与った一人なのです実は私の家族はとんでもない状態から救われたからです。(下記証しをご覧ください。)しかし、問題を抱えているのは私達だけでは無いと思います。実際は世の中の多くのご家族が、何らかの問題を抱えて困っておられるのではないのでしょうか。NPO法人リバイブ・ハウスは、その様々なご家庭の問題、個々の問題に取り組み、”人生の回復”のお手伝いをさせていただいております。

- 更生支援寮リバイブ・ハウスは専任スタッフが日常生活を共にし、独自のプログラムを用いて更生活動をお手伝いいたします。
- 就労継続支援B型作業所”～癒しカフェStep by Step～”は軽度の障害をお持ちの方を含む自立支援施設です。お一人お一人の個性、賜物、希望等を生かした訓練指導を行い就労活動へと繋いでいきます。

証し

私は二人の子供が小学生の時は、学校行事には必ず参加する子煩悩な父親でした。しかし、中学生になると私の仕事が忙しくなり、知らず知らずに子供から心が離れていきました。そんな頃から、好奇心や淋しさから二人の子供（長女と長男）の非行が始まりました。私と妻はこれまで子供への愛情と理解が足りなかったことに気づかされ、時間を取り戻すような思いで必死に子供に接しましたが親子の関係は最悪で修復できず、それは本当に想像を絶するような戦いでした。

そんな絶望の中で偶然、私は妻とあるテレビ番組を観ました。それは朝日放送のドキュメンタリー番組でした。内容は元ヤクザの牧師先生が自らの経験を活かして非行に走っている子供たちを救うというものでした。私は救いを求めてその教会に電話をしました。するとテレビに出ておられた牧師先生が電話で応対して下さり次の日曜日の午後に教会に行くことになりました。牧師先生はとても気さくで、元ヤクザには見えない謙虚な方でした。それが金沢先生です。「主イエスを信じなさいそうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」(使徒の働き16章31節という聖書の言葉を教えていただきました。金沢泰裕先生の勧めでそれから毎週、日曜日の礼拝に出るようになり、私は熱心に神様に祈り続けました。すると子供たちは少しずつ変わりました。そして私は洗礼を受けクリスチャンになりました。そして弟子教会主催の「親の会」に参加し続け、私と妻や家族の心も癒され問題は解決されていったのです。

その後、長女は大阪市立第二工芸高校を卒業し続いてキリスト教短期大学の神学部、そして関西聖書神学校を卒業し、宗教法人イエス教日本世界宣教会の伝道師の任職をいただきました。今は以前より交流のあった教会の伝道師と結婚して宣教に励みながら4人の子供の母親として幸せに暮らしています。また長男も社会人として働き家庭をおさめています。全ては変わりました。私も子供たちも生まれ変わったのです。



問題を抱えておられる皆様、
ご相談下さい。
あなたの問題は必ず
解決されます。



理事長 藤井 典彦

